

# 夏鳥がやってきた！！

毎年4月下旬から5月上旬にかけて、東南アジアからいろいろな渡り鳥が日本にやってきます。日本の森や野原で子育てしようと、はるばる海を渡ってやってきます。日本では春から夏の間だけ見られるので夏鳥といえます。みどり森にはどんな夏鳥がくるのでしょうか？

## はるばる来ませ！

わたくしツバメも夏鳥の代表です。



※ 越冬地をめざして北から南へ移動する「秋の渡り」では夏鳥が去り、かわって冬鳥が飛来します。

鳥の渡りとは、繁殖地と越冬地の間に1年に1往復する移動のことです。繁殖地をめざして南から北へ移動する「春の渡り」で夏鳥が飛来します。※

長旅の道中に休憩場所は欠かせないよ～。



緑の森博物館のある狭山丘陵は、東西11km、南北4km、面積3,500haの丘陵地。都心から40km圏内で市街地に囲まれた中に浮かぶ緑豊かな環境は、渡りの目標・中継地として大きな役割を果たしているようで、渡りのシーズンにはさまざまな鳥が立ち寄り、通過していきます。

## どうして渡りをするの？

東南アジア周辺の熱帯・亜熱帯の森林からやってくる夏鳥。赤道に近い常夏の環境ならば一年中えさ（とくに虫）も豊富と思われます。ところが、じっさいにはえさとなる虫の発生量は年間を通じてほぼ一定量。そこで子育てすると、ふだんそこに暮らす鳥が食べる以上に虫が必要なので、えさ不足に陥ってしまいます。

いっぽう、温帯の森林では四季の変化があり、春から夏にかけてえさとなる虫が爆発的に発生します。その量は温帯地域にとどまって繁殖している鳥たちの必要量をはるかに上回っているため、この虫を目当てに多くの鳥が東南アジアから渡ってくるのです。



## みどり森で見られる夏鳥



### ホトトギス (カッコウ科) 全長27.5cm

他の夏鳥より遅れて5月半ばに中国南部などから渡ってきます。ウグイスの巣に托卵\*するので、ウグイスの生息地が欠かせません。みどり森の湿地周辺にはウグイスが多いので繁殖に適しているようです。

\*托卵とは：自分では巣を作らず、他の鳥の巣に卵を産み、子育てを押し付けること。

### センダイムシクイ (ムシクイ科)

全長12.5cm  
インドシナ半島、マレー半島、スマトラ・ジャワ島から渡ってきます。

狭山丘陵では、ほとんどが通過で、4月中旬から5月上旬に「チヨチヨビー」というさえずりで存在を確認できます。同じ頃、メボソムシクイやエゾムシクイのさえずりもほんの一時確認されることがあります。



## ◆マナーを守って観察してね！◆

- ・園路外へは立ち入らないでください。
- ・繁殖のさまたげにならないようにしましょう。

### サンコウチョウ (カササギヒタキ科)

全長 オス44.5cm  
メス17.5cm

インドシナ半島、マレー半島、スマトラ島などから渡ってきます。狭山丘陵でも営巣しますが、みどり森には5月ころ渡ってきたばかりの個体が確認され、しだいに貯水池の森へ入っていくようです。青いアイリングとオスの長い尾羽は繁殖期だけの特徴です。



### オオルリ (ヒタキ科) 全長16.5cm

越冬地は台湾やフィリピン、インドシナ半島、ボルネオ島、スマトラ島、ジャワ島。狭山丘陵で繁殖しているかどうかは不明です。4月下旬に1週間から10日ほどみどり森で姿やさえずりが確認され、その後通過していくようです。



### キビタキ (ヒタキ科) 全長13.5cm

中国南部、フィリピン、インドシナ半島、ボルネオ島から渡ってきます。狭山丘陵でも繁殖していて、みどり森では6月頃に親鳥からえさをもらう巣立ちびなが確認されます。オスが成鳥と同じ色になり繁殖するようになるまで2年かかります。



◆親子はじめての自然観察

親子向けの自然観察会です。春の水辺や雑木林で、活動を始めた生きものたちなどを探します。

日時：4月14日(日) 9:30~12:00  
対象：小学生と保護者 定員：20名  
参加費：100円(保険代)

◆食育体験教室「畑で野菜を育ててみよう！」

畑で体を動かしながら土に触れながら野菜作りを体験。作物を育てる楽しさや大変さを学び、身近な夏野菜を味わいます。

日時：4/27、5/25、6/22、7/27、8/24  
(いずれも土曜日) 各回10:00~15:00  
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)  
定員：20名  
参加費：3000円(全5回分、保険代、材料費)

◆所沢エリア開園記念ウォーク

所沢市域開園を記念して、早稲田大学キャンパス~糞谷八幡湿地~みどり森案内所までを楽しく歩きます。

日時：4月29日(月・祝) 10:00~14:00  
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)  
定員：50名  
参加費：100円(保険代)

◆集まれ!ジュニアレンジャー

「もりもり探検とおやつ作り」

友だちと協力しながら、春のみどり森を探検します。最後におやつを作って、子どもの日をお祝いします。

日時：5月5日(日・祝) 10:00~15:00  
対象：小学生 定員：20名  
参加費：100円(保険代)

★事前申込が必要なイベントの受付は開催日の1か月前からとさせていただきます。

◆幼児とパパママで楽しむ自然あそび

新緑の気持ちいい雑木林の中で、身近な植物や生きものに触れ合いながらのんびり過ごします。

日時：5月12日(日) 10:00~12:00  
対象：4~6歳の幼児と保護者 定員：20名  
参加費：100円(保険代)

◆食育体験教室「田んぼでお米を作ろう！」

稲作を通してお米ができるまでの過程を体験し、米作りの大変さや食の大切さに気付いてもらう全7回の教室です。

日時：5/19、6/2、7/7、8/4、9/1、10/6、10/27  
(いずれも日曜日) 各回10:00~15:00  
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)  
定員：60名  
参加費：3000円(全7回分、保険代、材料費)

◆大人の自然観察会

初心者向けの自然観察会です。さまざまな動植物が見られるみどり森で、自然の営みを再発見してみませんか。

日時：5月18日(土) 9:30~12:00  
対象：中学生以上  
定員：20名  
参加費：100円(保険代)

◆みどりの森環境ウィーク

里山保全に関心をもっていただくためのイベントで、会期中はヒメザゼンソウの紹介やクラフト体験等が予定されています。

日時：6/5(水)~6/9(日) 9:00~17:00  
対象：一般  
参加費：無料

どなたでも!

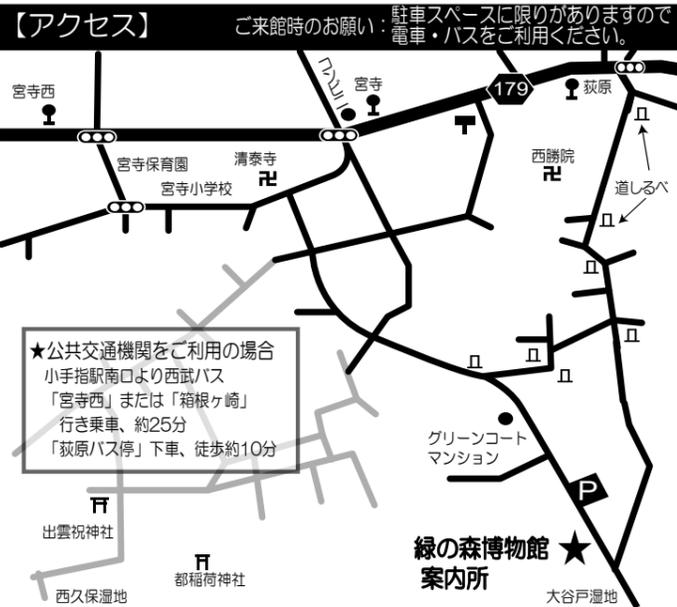
博物館からのお知らせ

◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生き物をむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

発行：さいたま緑の森博物館  
発行年月：2013年4月  
住所：〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1  
TEL/FAX：04-2934-4396



開館時間 9:00~17:00 【入館無料】  
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)  
【公式HP】 <http://saitama-midorinomori.jp/>  
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

春になって、みどり森には大きな出来事が3つありました。それは・・・

その1 所沢エリアがオープン!!

ながらく第2整備予定地だった所沢市域側の敷地が、正式に緑の森博物館として開園しました。今後多くの方々の憩いの場、自然とのふれあいの場となりますように!



開園した所沢エリアにある【糞谷八幡湿地(こうじやはちまんしゅち)】

その2 3月にオオルリ飛来?!

3/17、大谷戸湿地にオオルリの目撃情報が入り、スタッフを驚かせました! 今年の夏鳥の飛来はどうでしょう。今号の特集(中面)は『夏鳥がやってきた!!』です。

その3 大型?新人がきました!

4月から新たに緑の森博物館に勤務するスタッフを紹介します。

★内田勝久(かっちゃん)

私は昆虫とくにオサムシが好きなので、かわった虫を見つけたら気軽に声をかけてくださいね。

★塚本菜帆(もっちゃん)

私は、絵を描くことが大好き。樹木の根っこも好きで面白い形のものを探して歩き回っています。背は高いけど声は低いです。

みどり森のおすすめスポット(4月~6月)

春はめまぐるしく変化します。きのうまで咲いていなかった花がひらいたり、虫が飛び始めたり。花でも虫でも、何かひとつテーマをみつけて、何度も通って変化を見届けるのも楽しいものですよ。

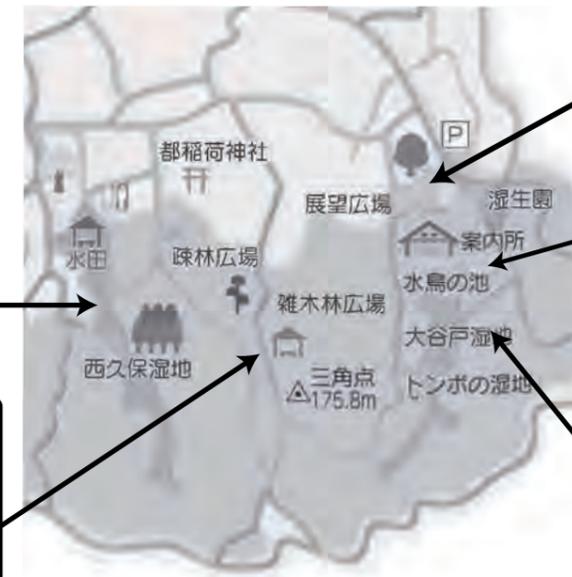
★自然すべてが展示物である「みどり森」では動植物の採取は禁止です★  
この森の動植物を持ち去ること、他の場所から持ち込むことはしないでくださいね!

西久保湿地

5月、田んぼの田起こしが行われると、シュレーゲルアオガエルがたくさん見つかります。ツバメが巣材の泥を取りに来ているかもしれません。田植えは6月です。ため池や湿地では5月にはシオカラトンボの成虫が飛び始めます。

雑木林広場

5月半ば、エゴノキが開花します。花も終わる頃、エゴツルクビオトシブミが作った葉巻(ようらん)がぶら下がります。



案内所周辺

展望広場近くの林内に5月中旬ごろからコアシサイが咲きます。ヒメザゼンソウは6月に開花します。

水鳥の池

カワセミがあらわれることがあります。

大谷戸湿地

ウグイスの声がよくひびきます。5月下旬にはホトトギスがわたってきて、さらにさえずりがにぎやかになります。4月にウワミズザクラ、5月下旬にはフジ、ミズキが開花するでしょう。